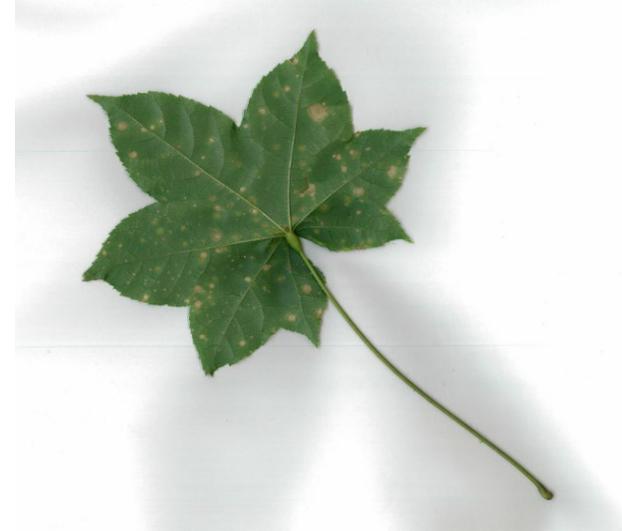


菅平のカエデたち

演習1- (a) × (ウコギ科)



- ・名称 ハリギリ
- ・特徴 別名センノキ。枝先に集まって葉が互生し、淡褐色の縮れた毛が葉の下部に生える。

演習1- (b) ○



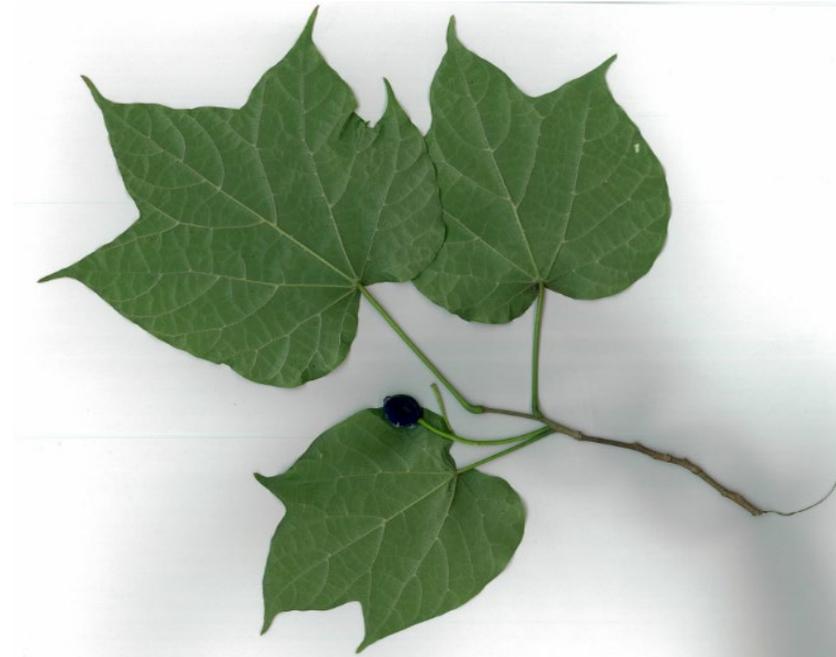
- ・名称 チドリノキ
- ・特徴 葉のへりはギザギザしていて、互いにほぼ平行した葉脈が特徴。

演習1- (c) ○



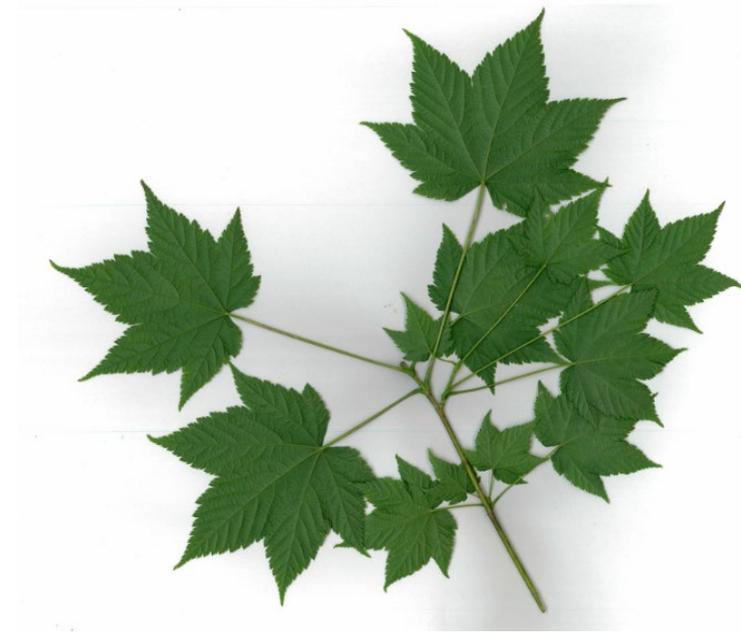
- ・名称 ヒトツバカエデ
- ・特徴 先端が尖った中程度の大きさのハート形の葉を付ける。

演習1- (d) × (ミズキ科)



- ・名称 ウリノキ
- ・特徴 葉部は大きく展開し、ハート形をしている。夏季に藍色の実を付ける。

演習2-①



- 名称 アサノハカエデ
- 特徴 5つに分かれた葉が先端でさらに細かく分かれ、先は細く尖っている。

演習2-②



- ・名称 ウリハダカエデ
- ・特徴 緑色の葉柄を持っていて、葉の裏に褐色の軟毛がある。

演習2-③



- ・名称 イロハモミジ
- ・特徴 別名タカオカエデ。秋に紅葉することでお有名。

演習2-④



- ・名称 ミネカエデ
- ・特徴 葉は五角形をしていて、先端は羽のように分か
れている。

演習2-⑤



- ・ 名称 エンコウカエデ
- ・ 特徴 イタヤカエデの亜種。イタヤカエデに比べ、葉の切れ込みが大きい。

演習2-⑥



- 名称 ハウチワカエデ
- 特徴 葉が比較的大きく、葉裏に長い軟毛を持っている。

演習2-⑦



- ・名称 イタヤカエデ
- ・特徴 葉のへりはギザギザしておらず、軟毛もなく滑らか。

演習2-⑧



- ・名称 クロビイタヤ
- ・特徴 イタヤカエデに比べ比較的葉が大きく、葉柄も長い。

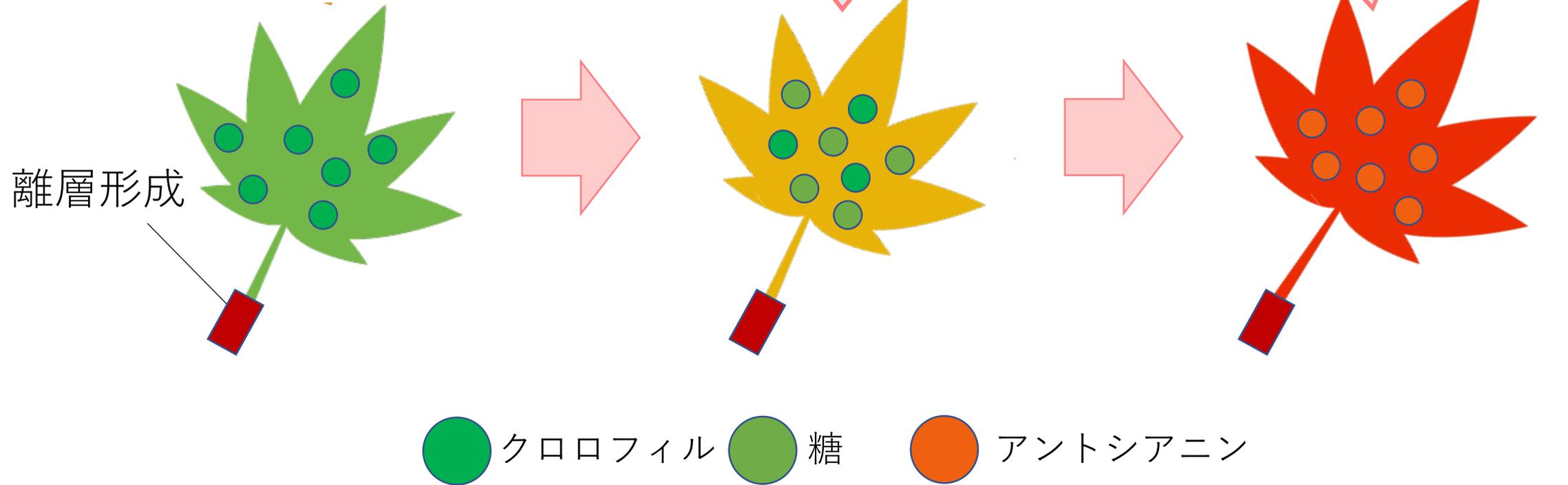
演習2-⑨



- ・名称 カラコギカエデ
- ・特徴 ひとつの枝に多数の葉が密集して繁茂する。
葉柄は比較的長く、葉の表面は滑らか。



紅葉化の仕組み



今日のまとめ

1. カエデ属の木は主に(**落葉広葉**)樹であり、
温帯を中心に分布している。
2. 世界で150種以上が報告されており、APGの分類体系によれば、(**ムクロジ**)科に含まれる。
3. 日本でよく目にする紅葉したカエデは
(**イロハモミジ**) である。

おわり